

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	三ツ森児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区高森429番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 454.28平方メートル、延床面積235.67平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） 児童クラブ室（38.88平方メートル）、図書室（20.25平方メートル）、遊戯室（95.58平方メートル）、事務室（20.25平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 15,823人 1日平均53.4人	A	+13.8%
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	103回	A	地域との関わりが安定している
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	94%	A	満足度は高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	職員に気軽に話せる雰囲気作り・ご意見箱の設置	A	地域の声を拾って伝えるなどし、関係性を深める
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	光熱水費昨年度比△9%	A	日々無駄のない使用を心掛けていた
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	A	仕様書等に定める事項を遵守している
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	A	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練3回実施	A	避難訓練等を計画的に実施し、事故等にも適切に対応した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	28回延べ29人参加	A	職員すべてが研修に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	A	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

児童館での体験が子どもの成長を促すようねらいを持ち生活、遊びの指導を行い行事を実施した。乳幼児親子の子育て支援では親子遊びの実施や育児相談を受け安心した子育てが出来るように支援してきた。放課後児童の育成支援にも重点を置いてきた。地域に根ざした児童館となるよう、児童とさまざまな世代の人との交流ができた。子ども達には人間関係の築き方の習得に繋がっている。地域の人達が児童館に親しみを持ち、子どもと一緒に行事やボランティアに参加している。毎年楽しみにしてもらっている行事も多く、内容を充実させてさらに「児童館は楽しいところ」「地域の人達の大切な居場所」と感じてもらえるようにしていきたい。子ども達の安全な環境作りや防災意識を高め、運営していきたい。管理経費削減については今後も必要に応じた使い方を心掛けて無駄のないように努めたい。三ツ森児童館の環境を生かした自然遊びを取入れ魅力ある活動をしていき岡方地区だけでなく来館に繋がりたい。乳幼児親子にも児童館の遊びを広報に力を入れてアピールしていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。今年度も利用者数が増加したことは、運営努力の成果が得られていると高く評価できる。親子や地域住民が行事に多数参加したことが増加につながった。地域関係者との連携事業実績は毎年高く、年間を通して地域をからめた活動に取り組む姿勢が、地域に根付いた児童館としての役割を十分に果たしていると考えられる。今年度は母親の為に企画があったため乳幼児親子も多く来館したが、岡方地区の参加者が減少であったことから、他地域からも来館してもらえるような工夫が期待される。環境整備として、遊具の安全な遊び方・使い方、利用者への見守りなどで事故防止に努めている。また、避難訓練・防犯訓練の実施や避難経路の掲示、テレビやラジオの設置により緊急時対応を徹底させた。管理経費の節約については換気や通風・室温の温度調整に心掛け、約1割の削減となったことを評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	早通児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区早通37番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 約500平方メートル、延床面積336.88平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（44.50平方メートル）、図書室（38.70平方メートル）、体育遊戯室（145.76平方メートル）、事務室（18.45平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 17,792人 1日平均61.1人	A	+5.7%
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	87回	A	地域との関わりが安定している
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	94%	A	満足度が高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	要望は真摯に受け止め対応	A	職員間での話し合いや関係機関との連携で対応
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	光熱水費昨年度比△10.2%	A	利用者からも節電を理解協力してもらいながら定着
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	A	仕様書等に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	A	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練4回実施	A	避難訓練等を計画的に実施し、事故等にも適切に対応した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	18回延べ20人参加	A	職員すべてが研修会に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	A	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

北区の児童館、児童センター4館の指定管理をし、各館ごとの交流や情報交換が定期的におこなわれ円滑に事業が進められた。今年度も地域や各機関と連携をいただき利用者にとっていろいろな体験のできる地域の施設として活用していただけたと思う。利用者からのご意見をいただいたり、職員間で話し合い事業の見直しをしてきた。利用者にとって家庭と学校以外の居場所のひとつになり安心して過ごせる施設にしていきたい。避難所となっているため研修にも積極的に参加し緊急事態に対応できるように準備をしてきた。避難所開設、運営がスムーズにおこなわれるよう職員全員が協力したい。子育て支援にも力を入れてきたが次年度はさらに幅広く乳幼児来館を増やし、孤立した子育てで不安を感じないよう援助できる施設にしていきたい。地域の方が集い、子どもの居場となり、地域と繋がる場所になるよう広報していく。これからも職員が利用者に対する丁寧な対応を心掛け安全で安心していただけるよう努力、協力をしていく。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。今年度も利用者が増加し運営努力の成果が評価できる。特に小学生の来館増加が目立ったが、学年を超えた遊びの楽しみ方を知ったからではないかと分析する。地域関係者との連携事業も安定しており、地域に根付いた児童館としての役割を十分に果たしている。緊急時対応については、避難所に指定されているため、避難訓練4回の他、地震・火災・不審者訓練など関係機関の協力を得ながら実施したことは高く評価できる。施設管理では定期的な巡回、職員による日常的な清掃など、清潔で安全な館内になるよう努めた。管理経費節減について、資源の有効利用を心がけた他、利用者にも節減に理解協力してもらうことで定着し、1割以上も削減できたことは高く評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	葛塚東児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区太田甲5762番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 1,367.53平方メートル、延床面積353.89平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（60.35平方メートル）、図書室（43.02平方メートル）、遊戯室（118.15平方メートル）、事務室（19.73平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 16,553人 1日平均 56.3人	A	+12%
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	73回 (6割増)	A	昨年度より実施回数が増加
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	90.3%(大人の満足度100%)	A	満足度が高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	4回アンケートを実施し要望に対応	A	対応できている
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	光熱水費昨年度比△20%	A	節約を意識しこまめな対応を心掛けていた
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	A	仕様書等に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率100%	A	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練3回実施	A	避難訓練の実施・職員各自がマニュアルを確認し緊急時に備えた
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	10回延べ13人参加	B	昨年度より回数が増えた
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	A	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

地域とのつながりが深く、児童と地域が交流する機会を多く設けた。地域の人材発掘や新たな連携先の拡充に努めた。児童が様々な経験ができるよう多様な分野の行事を企画した。日頃から衛生面や危険回避、事故防止の指導を細やかに行い、児童が安心して安全に過ごせる様配慮した結果、異年齢の児童(乳幼児・小学生・中学生)が同時に過ごせる場所となっている。集団が苦手な乳幼児親子が気軽に過ごせる場として提供してきたが、複数の親子が交流・情報交換ができ、また安心して集える場として設備の充実・広報の拡充に努める。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。年間利用者は約1割増だった。人気の行事の定員枠を広げたり、回数の増加により、小学生の利用が多かった。また、中学生も2倍の利用があったことが要因として考えられ、運営努力の成果が得られたと高く評価できる。その反面、未就園児が少なかったことから、今後親子が気軽に集える場作りと広報の拡充などに期待する。地域との連携事業を昨年度より多く実施できたことは、地域に根付いた児童館としての役割を果たしていると考えられる。環境整備については、施設周辺の清掃に努めたり、利用者の協力を得ながら日常的な清掃を行ったり、また年末大掃除には地域ボランティアや子ども達が参加するなど維持管理に努めた。緊急時対応については避難訓練を2回から3回に増やしたり、感染症対策などマニュアルの周知徹底により緊急時に備えた。管理経費節減では、冷暖房の調節をこまめに行いながら無駄を省くよう心がけ、2割削減となったことは評価したい。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	豊栄児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 2,094.87平方メートル、建築面積612.26平方メートル、延床面積519.15平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）ボランティア室（28.60平方メートル）、集会室（38.22平方メートル）、図書と映像の部屋（30.16平方メートル）、体育遊戯室（191.40平方メートル）、創作の部屋（38.58平方メートル）、事務室（31.83平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。 4 中学生・高校生については、ボランティア活動など、目的をもった活動の育成・支援を行い、地域社会と協力連携しながら、社会的活動の拠点としての機能を有する施設とする。 5 大型児童センターとして、北区全体の児童が参加できる事業を盛り込んだ運営を行う。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	年間利用者数 29,696人 1日平均83.1人 北区内全体での利用者あり	B	△17.3% 乳幼児親子・小学生の来館者が減少した
	広報	ホームページやセンターだより等で行事等の情報提供がされたか	センターだよりのHPへの掲載 センターだより毎月発行	A	区内全小学校への配布など広報に努めた
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	84.7%	B	「楽しい・また来たい」は90.3%
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	対応マニュアルが整備されている	A	来館者の要望に沿うよう対応した
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	光熱水費+12%	B	部屋の通風・水撒き・まめな節電など工夫した
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	A	地域組織との連携事業について計画外の事業への協力も多数行った
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	A	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練2回実施	A	避難訓練, 心マ・AED操作, 水消火器の練習など実施
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	14回延べ19人参加	A	職員すべてが研修会に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	A	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

職員は、1人1人がよりよいセンターにしようとする努力を重ねている。新たな行事を企画することにチャレンジした。スキー教室・将棋クラブなど楽しみながら学べ、子どものスキルが向上され、達成感・集中力が養われ、成長が見られた。普段なかなかセンターを利用することができない小学生にセンターで遊べるよう、長期休みに北地区にバス運行をおこなっている成果がはじめている。バス運行行事によく参加している小学生が、普段の土日に家族で来てくれるようになった。また、環境整備に力を入れ来館者の過ごしやすい環境を整えた。子どもたちが自ら考え行動するような場を提供し、引き続き環境整備を行い、清潔なセンターで来館者が毎日過ごせるよう配慮する。そして、乳幼児の親をひとりにしない声掛けを行い、おもちゃを消毒し、清潔に保ち、乳幼児の安全安心を守れるような場所を心掛ける。節電・節水にを日々心掛けている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。今年度の利用者数が減少したが、その理由として乳幼児の使用時間や事業の変更などによる乳幼児親子の来館者の減少や、放課後児童クラブ・習い事などにより、来館する子どもたちや行事に参加する子どもたちが減少したことが考えられる。しかし地域との連携を図り、幅広い事業の実施に取り組んだことは評価できる。来年度も引き続き北区の大型児童センターとして、乳幼児親子・小学生など魅力のある行事を企画していくことが求められる。施設管理では遊具の安全点検、破損確認とその修理、消毒などに気をつけ環境整備に努めた。管理経費節減についても、部屋が温まったら電気を切ったり、通風や水撒きなど工夫をして努力していた。来年度も来館者との対応の兼ね合いを図りながら経費節減に努めていただきたい。